

福島県の新たな交通政策のあり方(マッピング)

1 基本コンセプト

ハード依存の政策からソフトへシフトした政策へ転換

2 新たな交通政策のキーワード

「安心・安全」、「交通情報」、「多様」、「多機能化・共生」、
「協働」、「融合」

3 アクションプログラム策定

従来型のビジョン策定で終わることなくアクションプログラムの策定へ

1 交通ビジョンの見直しと新しい交通ビジョンの必要性

2 交通の意味の再確認と車中心の交通環境の見直し

3 車を自由に運転できない交通弱者の交通手段の確保

4 中心市街地の空洞化とコミュニティの崩壊

5 環境問題(大気汚染)

6 安全・災害対応

1 地域の大学との連携

2 公共交通機関利用促進のための制度

税制上の優遇措置等

3 地域のデザインと交通

1 国内の現状

公共交通と自動車の競合、生活様式変化

2 東北地方の現状

人口の減少、一方で豊富な観光資源

3 県内各地の現状

都市部(自家用車中心)、過疎・中山間部(脆弱な生活交通)

4 交通基盤の現状

常磐道全通の必要性、福島空港・小名浜港・相馬港の活用

5 新技術

ハイブリッドカー、BDF燃料

1 過疎・中山間地域における生活の足の確保

2 ユニバーサルデザイン、交通弱者への配慮

3 マイカーから公共交通への移行

社会情勢に応じたバス路線ルート、鉄道ダイヤ

4 中心市街地活性化、交流人口拡大、観光促進

巡回バス・自転車の活用、パークアンドライドの促進

5 物流効率化、新技術への取り組み等による環境配慮

6 住民・NPO参加、多様な機関との連携

1 国の交通政策

平成17年3月東北地方交通審議会答申

2 本県の交通政策

平成6年3月に現ビジョン策定

3 県内各市町村の交通政策

福島市の取り組み(乗合タクシー)

4 他県等の交通政策

秋田県(エコライナー、乗合タクシー)

5 先進的な取り組み事例

おだかe-まちタクシー、過疎地有償ボランティア輸送等